

CELULAS



ピアザ
NPO法人 多言語広場セルラス

2017
Vol. 7

世界に通じる人材の育成をめざして

CONTENTS

P.2-4 特集『セルラス・ユースからの メッセージ』

P2-3 リーダーズトレーニングキャンプを経て
中高生が見つけた事

ピアザが変わってきた!!

P4 青少年 Summer Camp 2017へ行こう!!

P.5 日常のピアザから見える
小さな発見、大きな成長

P.6 多様性の世界があるセルラス
NYから帰国して…
セルラス川柳

P.7 セルラスが出会った留学生
ステファニー・デウイプテウリ・スチアディ
@インドネシア

世界のレシピ
作ってみよう! ましろちゃんのカレカレ&トロン
@フィリピン

P.8 スーパーピアザだより



セルラス・ユースからの メッセージ

リーダーズトレーニングキャンプを経て 中高生が見つけた!!こと

2017年3月29～31日に開催された中高大生の「リーダーズトレーニングキャンプ」(以下、リートレ)を経て、参加した彼らに、多言語活動に対する気づきが生まれ、それは日常の活動の場であるピアザに広がっています。そんなセルラス・ユースの声をいくつか紹介します。

※1 ORP : ワンマンロールプレイ

セルラスのストーリーを、イメージを持って多言語やジェスチャーを駆使して、一人で表現すること。

※2 RP:ロールプレイ

セルラスのストーリーを、役柄に分かれて仲間と一緒にイメージを膨らませて多言語で表現すること。



権限なきリーダーシップを目指す!

溝の口金曜ピアザ 夏目葉太 (中1)

今年のリートレではワンマンロールプレイ(※1 ORP)が課題と知り、正直、「何だよ…」と思いました。しかも、最初から最後まで言わなきゃいけないし、ジェスチャーだけでもダメ、一言もダメ、と聞き、痛い所を突かれたと思いました。

リートレの課題には、言うことを評価するわけではないと書いてありましたが、「やっぱり覚えたほうがいいんだろうな」と思いながら、CDを聞き、そして覚えようと思いました。ですが、全くと言ってもいいほど入って来ませんでした。

残りあと数週間の時に、良い意味で諦め、楽しむことにしようと思いを決めました。すると、肩の荷がすごく軽くなり、ORPもなんだか、やって楽しくなりました。

もう一つ楽しくなった理由は、ORPが、ワンマンでやっている感じがなくなってきたことです。以前は一人が前に立ち、あとは周りを囲んで黙って座って見ているから、やる人はとても孤独だったけど、最近は少人数でもみんな助け合いながらやるから、一人じゃなくて、皆で物語をやっている感じがして、こちらの方がずっと楽しくて、良いと思いました。

権限なきリーダーについても思ったことがあります。権限なきリーダーシップと言うのは、例えば山歩きに例えると、リーダーが列を後ろから押したり、前から引っ張ったりすることも必要だけれども、その列の中の人もしっかり歩くのも大切だと思っていて、列の間をしっかりと歩く人達が、権限なきリーダーシップなんだと思って、僕は、これからのピアザで、Jr.リーダーではないけれども、自分も楽しんで、みんなも楽しめるように、間をしっかりと歩ける人間になりたいと思います。

イメージが広がる実感

本町ピアザ 近藤楽人 (高2)

僕はリートレを通して、イメージすることについて、強く実感したことがあります。

リートレでORPの見せ合いをしたときに、僕がやったORPと他の人がやったものは少し違うように思いました。でもそれは全然おかしい事じゃなくて、それぞれ思い描いている場面へのイメージが違うからなんだと気づきました。

そして、リートレのグループタイムでロールプレイ(※2 RP)をしたときに、場面のイメージをみんなで話し合い、膨らませて、共有することの大切さに気づきました。ただRPをするのではなく、ストーリーの主人公の明日香が喋っている間に、ロシア人のイラはこんなことをしてるんじゃないかなあとか、想像してみたことをみんなで出し合うと、場面がより詳細にイメージできて、自分の持っていたイメージが広がり、すごく楽しいRPに繋がると思いました。

いろんな発見があったリートレから帰って、すごくCDが聞きたくなりました。家でCDを聞いてみると、普段はなんとなく場面を想像しながらシャドーイングをするだけだったけど、リートレでみんながORPをしている姿を思い出したりして、いつもより場面をイメージしやすくなった気がしました。

今度はピアザにそれぞれのイメージを持ち寄って、楽しいRPをしていきたいです。

多言語習得の近道は、「ことば」を言うことを意識しないこと!?

永福町ピアザ 中西七海 (高1)

リートレを通じて、CELULASが多言語をする意味について、初めて自分で少し気づくことができたのではないかと、思っています。リートレに行くまでは、なぜ今回こんなに何種類もストーリーをやるんだろう...とか、今までと何が違う...とか自分の中でいろいろぐるぐる考えながら、シャドーイングやORPをしていました。

しかし、リートレでいろいろな人がやっているORPを見たり、話を聞いている中で「多言語を言う」のはとりあえず置いておいて、イメージをつけてみようとしてORPをしました。ことばよりもイメージを大切にすると、気持ちから自然に動いてジェスチャーすることができたと思います。周りにいる人に自分が今どこをやっているか伝えたいから、教えてもらいたいから、最大限に自分の中の風景をジェスチャーで大きく表現する。

そうすることで、すごくORPが楽しくなりました。すると、後からいっしょのグループの子に、「最初は言っていなかった多言語が、さっきは言えていたよ!」と言われました。自分のイメージにことばがくっついているものがあったんだと思います。

言うのを意識していないのに、多言語が言えていたと人に言われて初めて気がきました。それは自分の中ですごく驚いたけれど、もしかしたら、これがORPの本当の目的なのかもしれないと思いました。多言語を習得するのに、「ことば」を言うことを意識しないというのは矛盾しているように思えるけど、それが一番、多言語習得の近道なのかなと思います。

あなたはピアザを 楽しめていますか?

溝の口金曜ピアザ 宮本祥歩(中2)

今回のリートレに参加して、RPや日本語・多言語ORPの楽しさに改めて気づかされました。本当に楽しい♪そしてリートレでやったようなRPをピアザでもやりたいと思うようになりました。

今までは、ピアザのメンバーにはリートレやsummer campでの楽しさや驚き、発見などは伝わらないと思っていたけど、今は、もっとピアザのメンバーに伝えたい、分かってほしいと思っています。そしてそのためには、まずは私たち中高生がピアザそのものを楽しみ、みんなに働きかけることが必要だと思っています。

私の行っているピアザは約40人のメンバーが参加しています。その中で、今年summer campに行ける小3以上の子供は全部で20人くらいです!

一人ひとりが意識すると、すごく大きな力になると思います。なので、summer campまでに、参加できる青少年をしっかりと目覚めさせて、RPを通して楽しかったと思えるようなsummer campにしたいです。

そして子供だけでなく大人も、日本語・言語ORPを積極的に「やります!」と言えるような、1回1回のピアザが楽しかったと思えるような、そんなピアザにしていきたいと思っています! 人数が多い溝の口金曜ピアザ。それが長所となるようなピアザに、これからもどんどん進化させていきたいです!!



もっとピアザを楽しむために!

梅田ピアザ 辻川 慧成(中1)

僕は中学1年生になり初めてリートレに参加しました。リートレから帰って来て1つ思ったことがありました。それは、なぜリートレやフェスティバルなどは楽しいと思うのに、普段のピアザはそれに比べて楽しいと思えないのだろうということです。内容はあまり変わらないのに。

そして、僕はこう考えました。リートレやsummer camp、フェスティバルなどは、自分が楽しもうとしないと、あっという間に終わってしまいます。それは嫌なので、一人ひとりが自分から楽しまなきゃと思い、誰かに任せるのではなく行動しているの、その結果「すごく楽しかった!」とほとんどの人が思うのだと、僕は思いました。

それと同じで、普段のピアザも、コーディネーターにすべて任せてしまうのではなく、もっと自分から楽しむようにすれば変わるのではないかと、それには自分ももっと考えて、いろんな意見をだし、人の意見も聞き、ディスカッションもしたり、進行だってやっていけば、リートレの時のように「楽しい!」と思うのではないかと考えました。

僕たち中高生がこう思って行動すれば、もっとセルラスが盛り上がり、楽しくなるのではないのでしょうか?

そして、これを読んで、今まで以上にセルラスを楽しみたいと思っている人は、毎週のピアザで自分から楽しんでください。そしたらリートレやsummer campに負けないくらい楽しいピアザになると、僕は思います。

ピアザが変わってきた!!

関東・東高円寺ピアザ

Jr.リーダーに憧れを持った我が子!

中西美玲(3児の母)

特に飛び級で参加した2人のORPが変わったと思いました。リートレ準備会の回数を重ねていくうちに、ほかのピアザの子たちの良いところをうまく取り入れて、だんだん生き生きしてきたと思っていたけれど、リートレ後には、ジェスチャーが大きくなっていて、うまく情景を想像できている感じがしました。また、発言する時も、前より自信がついたのか、声が大きく出るようになっていました。

うちの息子(小2)はピアザでリートレのDVDを見せてもらった時に、いつもと違って集中して見ていました。生き生きとして楽しそうにしているお兄さんやお姉さんたちに、憧れの気持ちを抱いたようです。そのあと、高2のJr.リーダーが挨拶したのがかっこよかったそうで、Jr.リーダーになりたいと言い出しました。

今年のリートレに、東高円寺ピアザからは6名の子どもたちが参加しました!リートレを終えてピアザに戻って来た彼らの変化に大人は驚きの連続!!何がこんなに子どもたちを変えたの?大人も負けてられません!

これこそが「権限なきリーダーシップ」

長沼啓之(社会人)

最近の青少年たちの劇的な変化に驚いています。というか、頼もしくさえ見えてきました。これもリートレ成果であることは、疑いようのない事実だと思っています。リートレから戻った彼らは、今までにない積極性はもちろん、小さい子どもたちのお世話も自然な形で出来るようになっていました。誰かから言われたわけでもなく、発言者の邪魔にならないように、今、自分がやらなければいけないことが分かっているかのようでした。これこそが、「権限なきリーダーシップ」だと思います。

そんな現在の青少年たちの様子を見て、子供たちも憧れていくんだろうなと思います。私自身も彼らに負けず、これからそんな、『憧れられる存在』を目指していきたいと思っています。



リーダーズトレーニングキャンプの次は・・・ CELULAS 青少年 SUMMER CAMP 2017へ行こう!!

今年もCELULAS 青少年 SUMMER CAMP 2017が開催されます!
なんと今年は、春のリーダーズトレーニングキャンプで課題に取り組み、多くのことを発見してきたJr.リーダーたちがcampのプログラムを考えます。Jr.リーダーたちの目線で作られる初めてのcampです。ピアザや関東・関西の地域を越えた小中高大生が交わり、留学生リーダーと過ごす3泊4日のsummer campは、ピアザの活動も、より一層楽しくなるヒントがいっぱいです。
「行かなきゃ「MOTTAINAI」もったいない!」
小学3年生になったら、『CELULAS SUMMER CAMP にGO!』
～Let's go for an adventure trip.～

CELULAS 青少年
SUMMER CAMP 2017
日時：2017.8.20～8.23
場所：長野市青少年錬成センター
対象者：小学3年生～大学生

今年のJr.リーダーワッペンは、夏目葉太くん(中1@溝の口金曜ピアザ)のデザインが採用されました!
「人、ことば、自分自身…
いろんな壁を越え、世界に通じるリーダーになろう!」
という思いで作成したそうです。
来年は、君のデザインが採用されるかも!!



WE ARE CELULAS JR. LEADERS 2017 !! ～今年は7名のJr.リーダーが みんなの参加を待ってるよ!～



中西七海 (高1)
永福町ピアザ

「Jr.リーダーだからこそできること」を全うする1年にしたいです。いつも笑顔で、そして

何よりも自分が一番セルラスを楽しんで、セルラスを盛り上げていきます! 私は初めて行ったキャンプで、留学生から聞いた話を自分たちでまとめて紹介したことで、留学生の国をすごく身近に感じたことを今でも覚えています。今年もみんなと一緒に、新しい発見や成長がしたい! 一人ひとりが持つ力は無限大です! だからみんなの力が集まったらすごいキャンプになること間違いなし!! みんなに会えることをとっても楽しみにしています!



山川夏海 (中3)
芦屋ピアザ

Jr.リーダー2年目の今回は、昨年の反省を自分の強みに変えられるように頑張ります!そしてこの活動の真の面白さ、魅力をどんどん引き出して行きます! 私のキャンプの思い出は、初めて参加した小6の時間が一番心に残っています。様々な学年、住んでいる場所、国籍の違うみんながひとつの場所に集まってセルラスの活動を一緒に楽しむ姿がとても印象的で、本当に楽しく面白かったです。まだサマーキャンプに行くか迷っている人は、今回思いきってチャンスをつかんで一緒に最高の夏にしようね!



近藤楽人 (高2)
本町ピアザ

来年は受験勉強もあり忙しくなるので、今年1年でこれまでにできなかったことを全うしたいです。頑張ります! キャンプでは、普通のピアザだとできないような体験がたくさんできると思います。みんなでキャンプに行って楽しい時間を一緒に過ごしましょう!



和田たま子 (中3)
梅丘ピアザ

自分が一番楽しんで、みんなも毎回のピアザやイベントが楽しめるようにすることを頑張ります! サマーキャンプは、自分に必要な何かが見つかる「チャンス」です。

さあ、チャンスの神様の前髪をつかめ!!



日高広夢 (高2)
下北沢ピアザ

今年もJr.リーダーとしてセルラスの活動を通して、どういうことができるのかをロールプレイやプレゼンテーションで伝えていきたいです。また、男子Jr.リーダーをもっと増やしたいです! サマーキャンプは関東・関西のメンバーと一緒に楽しめるビッグイベント! どれだけ楽しめるかはキミ次第!!



河野麻奈穂 (高2)
西明石ピアザ

昨年反省を活かして今年一年はいろんな事に挑戦していき、何事も全力で楽しんで頑張りたいです! サマーキャンプに参加するみんな、一緒に悔いの残らないように楽しみましょう! まだ参加するかどうか迷っている人も勇気を持って参加してみませんか? 会えるのを楽しみにしています!



塩川萌子 (高2)
東高円寺ピアザ

初Jr.リーダーとなりました! 今までサブとして支えてきたけれど、これからはみんなに付いてきてもらえるリーダーにもなれるよう、自分を変えていきたいです。今年も、参加する私たちが創るサマーキャンプだから、みんなが生き生きとした顔で活動できるようなキャンプにしたいです!

日常のピアザから見える 小さな発見、大きな成長

セルラスでは、年度の初めに、多言語活動の旬の話題を共有し、今年度の活動の方向性を確認する場、「セミナリオ」が開催されます。今年も4月に関東・関西でそれぞれ行われました。当日の内容を決める話し合いの中で、セルラスは『自分で見つける』ことが面白い活動なのだという話題が出ました。今まで経験してきた「受け身」教育とは真逆の、自分で見つけていく活動。でも、自分は何が変わってる？何を見つかるの？どうやって見つけるの…?? 日常に変化が溢れていても、忙しさに紛れて気づかないことも多いのです。見つけるためには、気付ける**視点**が必要です。そこで今回、関東・関西と、発表の仕方は違いますが、活動の中で見つけたことをどんな小さなことでも出し合いました。さて、何か変化は見つかったのでしょうか～？



関東編

関東セミナリオでは、グループに分かれて、自己紹介と一緒に、自分の成長やセルラスで活動しているからこそその小さな発見を話しました。話すことで、自分を振り返ったり、仲間の話から気づきを得たり、改めてセルラスをやっている意義を確認することが出来ました。

新家奈津子 (横浜土曜ピアザ)

子供と一緒に本屋さんに行った時、子供の本を選んでいたら、近くで子供たちがキッズコーナーのいすに座って何かおしゃべりしていました。特に気にせず本を探していたら、突然聞き覚えのある音!? 響きが聞こえてきたのです。
「チェンダオ、シータオ、プー」
あれ!?あれだー!!と言って子供と一緒に見に行くと、中国人らしき女の子たちがジャンケンをしていました。
横浜ピアザでは、最近多言語で「あっち向いてホイ!ジャンケン」が流行っています。中国語でも何度かやっていたので、中国語のジャンケンが私たち親子の耳に、脳に、一つのことばとして身につけていたことが分かった小さな体験でした。

中村蒼 (小5 渋谷ピアザ)

ピアザの司会をやるようになってから、学校のことを積極的にやるようになった。「やりたい人」と言われると「はい!」と手を挙げられるようになった。

相馬啓子 (烏山水曜ピアザ)

ロールプレイで表現することが苦手なのですが、先日のピアザで、生まれ育って馴染んでいる博多弁でロールプレイしたら、とても場面が浮かび、楽しくできました。この体験も多言語で話すことにつながるのではないかと思います。

関西編

関西セミナリオでは、「〇〇と〇〇が**ん!**」と**融合し〇〇が生まれる!**という視点で、自分の日常の体験から見つけたことをリズムに乗せて表現してみました。セルラスの様々な体験から、自分の中で何が起きているかを再発見!



ホームステイの受け入れをした**ん!** + ゲストの話をもっと聞こうとした

世界中の人と話したいくらい、人に興味を持った!

井上紀比子 (明石ピアザ)

勇気 + セルラス

ん!

間違いを恐れない!

ピアザのロールプレイでまちがって恥ずかしかったけど、それを繰り返すことで恥ずかしさがなくなった

山川海人 (小5 明石ピアザ)

海外赴任が楽しみになった!!

ロールプレイしている **ん!** + 毎週ピアザに行っている

友達ができた!

みんな受け入れてくれて、大人も小さい子も友達になれた!

加藤かれん (小2 宝塚ピアザ)

田所佑樹 (西宮北口ピアザ)

香港に住んでいた時、言葉の壁を感じ、日本語を話せる外国人としか付き合えませんでした。こちらから積極的に話かければもっと世界は広がったはず。それが出来なかった事を妻とも後悔していました。その経験から、息子たちには、将来この壁を乗り越えられるような人になるための何かを見つけたいと思っていました。そしてセルラスに出会い、言葉や人に向き合うスタンスに共感を覚え、そして何よりピアザでの子供たちの積極性にとっても驚き、「これだ!!」と思わず入会しました。現在は家族全員で毎週ピアザに楽しく参加しています。息子たちはとても恥ずかしがり屋なのですが、ピアザの中で少しずつ積極性や自信が生まれて来ています。「ワンマンロールプレイをしたい!」と初めて聞いた時はとても感動しました。もし、また海外赴任の話が出れば「外国には行きたくない。パー一人で行ったら?」という返事ではなく、家族全員が「楽しみ!その国なら何語で話せば良いかなあ〜」とやってくれる気がします。

香港に5年住んでいた **ん!** + セルラスの活動を始めた

多様性のあるセルラス

溝の口金曜ピアザ 曾我麻紀



セルラスとの出会い

そんな生活も少し寂しいな…とっていたところに、私たちはセルラスに出会いました。参加した当初は、英語で自己紹介をすることすら少しためらうほどになっていた子供たちでしたが、毎週ピアザに参加するうちに、少しずつ変わり始めました。メンバーがとても興味を持ってくれたので、自己紹介を兼ねて、私たちがアメリカでの生活を話したことをきっかけに、その後だんだんと、ピアザで英語を話すことをためらわなくなり、家の中でも楽しそうに英語のストーリーを口ずさむようになりました。

多様性の世界との出会い

6年前、私は夫の赴任でNYで暮らすことになり、そこで初めて、多様性の世界に触れることになりました。娘2人は公立の現地学校に入学させ、私も現地のボランティア制度を利用してネイティブの先生から英語を習い始めました。そこで私たち家族が学んだのは英語という外国語だけではありませんでした。世界には沢山の国があり、同時に無数の文化、宗教が存在していました。食文化、生活スタイル、習慣、価値観etc…国によってみな違うけれども、ここではお互いを許容しながら生活している。この経験は日本ではなかなか味わえないものでした。

かけがいのない優しさ

渡米当初は驚きの連続で戸惑いもありましたが、徐々に異なる環境への抵抗感が薄れ、そのうち自分や日本との違いを見つけることが面白くさえなってきました。そして更に様々な世界を知りたいと思うようになりました。もちろん、アジア人であるということで、私も娘たちも少なからず悲しい思い出はあるのですが、しかしそれ以上に、私たちはかけがえのない人々の優しさに触れ、助けられ、感謝に絶えない思いも沢山経験しました。

一步近づく勇氣

娘たちにもこんな経験があります。ある病院で、背が高く、体格の良いアフリカ系黒人の看護師さんがいました。娘たちは彼女を最初とても怖がり、近づこうともしませんでした。しかし、彼女は誰よりも優しく子供たちに接してくれて、やがて娘たちは彼女の事が、その病院で一番好きな看護師さんになりました。人を見かけや肌の色だけで判断することがいかに残念であるか、一步近づくことで、相手を理解し、自分も理解してもらおう糸口を見つけれられるのだと、身をもって知ることができた体験でした。

周りの空気と違う自分

約3年の赴任生活を終えて帰国すると、それまで日常に溢れていた多様性のある世界は全くと言っていいほど、無くなってしまいました。娘たちは、日本の学校に溶け込むためにだと思いましたが、一切英語は話さなくなりました。アメリカでの生活、学校の事を話す機会もなかったと思います。もともと、あまり積極的ではない性格で、アメリカでの生活を話すことで「人と違う自分」を出したくなかったのかもしれない。

セルラスにある多様性のある世界

セルラスには、日本にいながらにして、多様性のある世界を体験、そして広げていける環境がありました。例えその国のことばを知らなくても、どんな人とも真っ直ぐに向き合おうとするスタンスを持った、仲間がいる毎週のピアザは刺激がいっぱいです。またピアザを越えたメンバー同士の交流やワンデイトリップで留学生との交流にも参加すると、そこにはまだまだ私たちの知らない世界が沢山ありました。

ことばへの意識が変化

かつては正誤や単語にとらわれてしまっていた英語が、イメージを膨らませて、音とリズムを楽しみながらことばを掴んでいくことを意識していくことで、英語に気軽に触れられるようになり、子供たちと字幕を意識せず映画を心から楽しんで観れるようになっていくことに気がきました。娘は、最近お気に入りのスペイン語も遊び感覚で話している姿を見かけるようになりました。

セルラスに出会い、私たちは多様性のある世界に再び触れることが出来ました。そして、さらにこの環境の中で、新しい出会い、発見をこれからも続けていける可能性を強く信じています。

セルラス川柳 優秀作品発表

キム子をね 食べた瞬間
ムルジュセヨ！
劉流(小4)

ピアザでは おじさんたちも
青少年
南都虎猫

ハマります！ 「国」が「人」になる
ホームステイ♪
こゆま

番外編：広報チーム渾身の一句！
ムイビエン ピアザで花見
ペロ余 鼻尖^{ピエン}
璃詞蝶

ご応募ありがとうございました。

セルラスが出会った留学生

ステファニー・デウイプテウリ・スチアディ @インドネシア



プロフィール

インドネシアのブカシで生まれる。19歳。高校卒業後に来日、1年半日本語学校に通い、今年の4月からは、慶応義塾大学 理工学部 管理工学科1年生。小さい頃からの趣味は食べることで、一番好きな日本食は豚骨ラーメン♪

セルラスとの出会い

日本に来たばかりの時、先輩にセルラスに連れて行ってもらいました。それから、ワンデイトリッププログラムに参加して、ホームビジットさせてもらいました。日本語学校で勉強した時は、ただ知識を頭に入れるのがあまりよくないと思って、必ず勉強したことを実際に使って、応用しなければならぬと考え、ほとんど毎週、中野ピアザに通いました。

ピアザに参加して思うこと

日本の文化について教えてもらったり、自分の国の言語や文化を聞いてもらったことが本当によかったと思います。日本語能力も上達したし、自分の国の文化の大切さも分かるようになりました。それに、ただ話すだけでなく、ロールプレイや歌、ゲームでも日本語の練習になりました。また、日本語以外にも、他の国の言語を少し学びました。ピアザで会った人々が、多言語と多文化を尊敬する様子を見て、素晴らしいと思いました。



リートレに参加して見えたこと

今年の3月末にセルラスのリーダーズトレーニングキャンプに参加してもらいました。このキャンプで一番印象に残るのは、元気で、自信を持って、個性を示す小中高生たちの様子です。例えば、自己アピールタイムで、みんな正直に自分が自慢できることを教えてくれることや、キャンプファイヤーでラップ、

ダンス、ビートボックスを演じてくれたことです。それに、グループディスカッションで自分の意見を述べる事ができて、すごかったです。みんなは責任を持って行動したことが大人っぽくて、とても素晴らしいと思いました。また、彼らは留学生の私に対してやさしくて、フレンドリーな態度をしてくれました。留学生たちのために寝具の準備をしたり、「達磨さんが転んだ」と「ケイドロ」といった日本の遊びを一緒にやったりしてくれました。まるでみんなは兄弟のようだと感じました。



将来の夢

慶応大学を卒業したら、また他の国の大学院でもっと管理工学の研究をしたいです。卒業後は、海外で働くつもりです。それから、インドネシアに帰って、インドネシアの工業発展に貢献したいと思います。



セルラスの皆さんへ

外国の言語や文化に関心を持って続けてください。特に学生の皆さん、チャンスがあったら、ぜひ留学してください。確かに、日本は先進国で、便利な国ですが、この楽な場所から出て、自分を挑戦してみたいです。学ぶことは本からだけでなく、経験から得ることもできます。留学をすることで、いろいろな人と会って、様々な考え方を見つけて、視野を広げることがきっと役に立つことになると思います。心と視野が広い人になりましょう。



作ってみよう！ ましろちゃんの カレカレ&トロン@フィリピン！

<<材料>> (4人分)

カレカレ

- ・豚スペアリブ用 600~700g
- ・キャベツ 小1/2個
- ・いんげん 12本
- ・ナス 3本
- ・玉ねぎ 1/2個
- ・にんにく 2片
- ・オリーブオイル
- ・アンチョビペースト
- ・ピーナッツバター (なるべく甘くないもの) 150g

●カレカレ

- ①大きめの鍋に水1800ccとスペアリブを入れてポイル。沸騰したら弱火にし、ふたをして2時間ほど茹でる。
- ②野菜を切る。キャベツはざく切り、いんげんは半分に、ナスは7mm幅で斜め切り。玉ねぎ・ニンニクはみじん切り。
- ③豚肉が骨から外れるくらい柔らかくなったら、別鍋にオリーブオイルを大さじ3入れ、玉ねぎとニンニクをきつね色になるまで炒める。
- ④豚肉をいったん取出し、残ったスープを2カップほど③の鍋に入れ、ピーナッツペーストを150g入れ、溶かす。
- ⑤残りのスープを入れよく混ぜ、肉、野菜を入れ野菜がしんなりしたら出来上がり。
- ⑥皿にとりわけ、アンチョビペーストを混ぜながら食べる。

*アンチョビはペーストがなかったら、缶詰のアンチョビをすりつぶしてもOK！アンチョビの塩気で食べるので苦手な人は塩コショウで調節してください。

●トロン

- ①バナナを1/4にカットし、黒糖をまぶし、春巻きの皮で包む。
- ②春巻きの皮にも黒糖をつけて、きつね色にからりと揚げる。

*フィリピンではジャックフルーツも一緒に巻きます。缶詰があるので、みつけたらぜひ使ってみてください。

トロン

- ・バナナ 2本
- ・春巻きの皮 8枚
- ・黒糖(できたら粉末、なければ砕く)
- ・サラダ油

2016年リートレ&坂-杯®に参加した、クリサンドラエです〜！



スーパーピアザだより

スーパーピアザは、毎月一回、ピアザを越えて集まる場として開催しています。創り手は参加者のあなたです！みんなでワイワイ、日ごろの疑問も出し合いながら、大人だけのセルラスを楽しみませんか?!(小さいお子さんも大歓迎!)



参加者の感想より

阿倍野ピアザ 永岡 綾 (3児の母)

私は昨年入会し、1ヶ月も経たぬ頃に初めてスーパーピアザに参加しました。関西では、2017年1月から4ヶ月間、ロシア語でのワンマンロールプレイ(以下 ORP)やロールプレイ(以下 RP)に取り組んでいました。私もそこで、ORPに初挑戦することになりました。とても緊張し、みんなの前で演技試験を受けているような気分でした。間違ったり言えないと恥ずかしいから、一つでも多く言わなければということ意識してしまい、周りの人の顔を見る余裕すらありませんでした。でも、他の皆さんのORPは、ロシア語を決して多く言っているわけではないけれど、とても自由に想像を膨らませながら楽しそうにしている、私も、一人ではなく、みんなと一緒に場面に取り組むことを意識してみました。すると、場面がより理解できて、ロシア語にとらわれなくなり、楽にORPができるようになりました。

「再会を誓って」の場面のRPでは、登場人物に感情移入して泣いてしまい、自分でも驚きました。

「ことば」も大事だけど、登場人物に興味を持って人と一緒にやると、気持ちにも共感できて、「ことば」もより理解しやすくなると感じ、多言語を話すためには、シャドウイングだけではなく、ORPやRPすることに大きな意味があると思えるようになりました。



永福町ピアザ
公田穂乃香さん(小6) 作

= 編集後記 =

前号に引き続き、今回もセルラスユースのメッセージを中心に、セルラス多言語活動の旬の話題を紙面に盛り込みました。いかがでしたでしょうか？

高1のメンバーが、リーダーズトレーニングキャンプ(以下 リートレ)から帰って来て、こんな話をしてくれました。「自分はワンマンロールプレイ(以下 ORP)がすごく苦手だったけど、仲間のORPがめっちゃくちゃ笑えて、イメージがどんどん自分の中に入ってきました! それからはストーリーのイメージ作りをとにかく楽しんじゃおうと決めたら、そのあとロシア語やスペイン語になっても、体が自然に動いてみんなに伝えられました。驚いたのは、家に帰ってその場面を韓国語で聞いたときです! 今回韓国語は課題に入らなかったのに、その時初めて聞いたのに、『えっ、何これ?! 日本語?!』と思うくらい、すごくよく聞こえてわかりました!!」

リートレを皮切りに、青少年たちが「ことばの体験」を次々と語り始めています。

セルラスの多言語活動は「自分で見つける」活動です。一人の嬉しい発見は、周りに共鳴し、他の人の体験をも掘り起こして、また新たな発見につながっていきます。私たちも「小さな体験」の意味を見逃さない感性を、お互いに磨き合いつつ、次号の機関紙CELULASにつなげていけたらと願っています。

広報プロジェクトチーム一同

寄稿文&4コマまんが随時募集中!
(詳細は、本部事務局広報プロジェクトチームまで)

セルラスでは、全国各地で様々なイベントを開催中です。詳しくはセルラス ホームページをご覧ください!
メルマガも随時配信中!



発行元

ピアザ セルラス

NPO法人 多言語広場CELULAS

本部事務局

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-23-1 ニュース付対-1038

TEL: 03-5333-8202 (代表) FAX:03-5333-8203

関西事務所

〒553-0007

大阪府大阪市福島区大開1-10-10

TEL&FAX: 06-7493-7931 (代表)

URL: <http://www.celulas.or.jp>

e-mail: info@celulas.or.jp